

授業科目名	人体のしくみとはたらき I	担当者	柳井 和年
単位	—		
時間数	38時間	学年	1学年
授業形態	講義	開講時期	前期
授業の到達目標	<p>看護の質を保証する基礎となる人体の形態と構造や生体の機能について理解する。</p> <p>人体の構造や各器官系統の働きの意味を生活行動の観点から理解する。</p>		
授業の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 解剖学・生理学とは 2. 人体の構成 3. 人体の器官系 4. 運動器系 5. 体幹・上肢・下肢 6. 体液 7. 解剖見学 		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第1章 総論 解剖学、生理学とは 2. 第1章 総論 人体各部の名称 3. 第2章 人体の構成（細胞の内部構造 細胞分裂） 4. 第2章 人体の構成（組織、器官、漿膜と漿膜腔） 5. 第3章 人体の器官系 6. 第3章 人体の器官系 7. 第4章 運動器系（骨・筋学総論、体幹の骨と筋） 8. 第4章 運動器系（脊柱、胸郭、骨盤、頸部の筋、胸部の筋、腹部の筋） 9. 第4章 運動器系（背部の筋、上肢の骨と筋） 10. 第4章 運動器系（下肢の骨と筋） 11. 第4章 運動器系（下肢の骨と筋） 12. 第4章 運動器系（頭部の骨と筋） 13. 第4章 運動器系（頭部の骨と筋） 14. 第4章 運動器系（骨と軟骨の生理、興奮性組織の一般生理） 15. 第5章 体液（体液） 16. 第5章 体液（血液） 17. 解剖見学 		
テキスト	新看護学1 専門基礎〔1〕 医学書院		
評価の方法・基準	筆記試験（100点）		